

あじさい・ひまわり

(4・5歳児)



ごっこ遊び

あじさい・ひまわり子ども達が自らごっこ遊びを始めると、調理する人、店員さん(レジの係)、お客様のように、それぞれ役割が決まっていることが特徴的です。

自分の役割にあった言葉・動きをイメージしながら、ごっこ遊びを展開していきます。

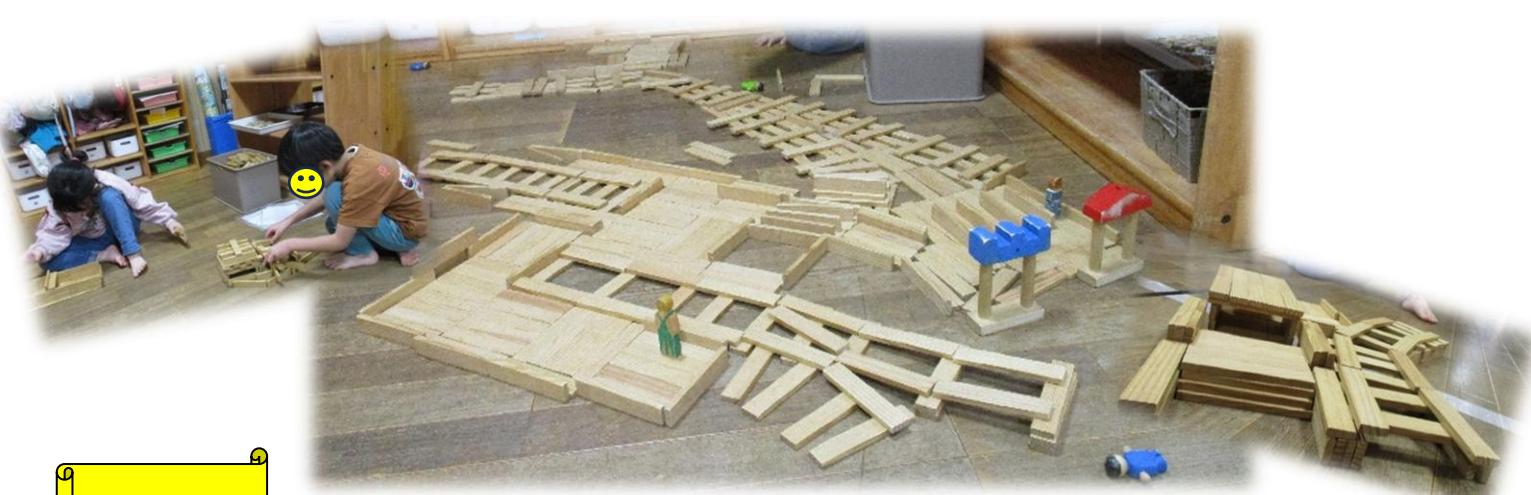
大人が材料を準備してあげると、自分たちでごっこに必要な道具を作って、更に発展させることもできます。



LaQ(ラキュー)

あじさい・ひまわりの子ども達はブロック遊びも大好きです。何種類もあるブロックのおもちゃの中でも、「LaQ(ラキュー)」は、あじさい・ひまわりならではのおもちゃです。

こまかいパーツを組み合わせることで、たてよこななめ、立体的な形を組むことができるので、自分でオリジナルの形を作つてみたい、説明書を見ながら作つてみたいと、いろいろな楽しみ方をしています。



カブラ

カブラは、小さいかまぼこ板のような積み木のおもちゃです。すごくシンプルなおもちゃですが、積んだり、立てたりと組み合わせ次第で、建て物、迷路、道路など色々な形を作ることができます。自分でイメージしたものを形作ることができます。あじさい・ひまわりさんならではの遊びです。



おにごっこ

逃げる人、追いかける人と、子ども達でルールを決めて遊べるようになるのも、あじさいひまわりの特徴です。
「おにごっこ」と一言に言っても、「こおりおに」、「ばななおに」、「ドロ警」などいろいろな遊び方があり、タッチされたらその場で止まっている、仲間を助けに行くなど、いろいろなルールがあります。子ども同士でルールを共有しながら、一緒に遊びを楽しめるのも、あじさい・ひまわりの子ども達ならでは姿です。

なわとび・たけうま

幼児になると、力を抜いたり、入れたり、バランス感覚を使ったりと、自分の身体を調整して「操る」ことができるようになってきます。あじさい・ひまわりになると、そこから更に、縄や竹馬などの道具と自分の身体を調整することができるようになります。初めはできなくても、何回も行なうことで、自分の身体の使い方(調整の仕方)のコツもつかんでいくようになります。

